

## 【テキストサンプル2】

東北福祉大学  
障がい学生サポートルーム

■今年度、4年ぶりに利用学生が入学して、今までのサポーター養成方法を見直しました。さらにサポーターが活動に参加しやすい環境づくりも目指してきました。

### ■再出発

結びつきを大切に

(背景が虹の絵になっており、左側に「昨年」、右側に「今年」の様子が書いてある)

### ■昨年

(不安そうな男の子が2個の風船にぶら下がっている)

風船1：講習会90分1回

風船2：学内テイク活動減少

「不安…テイクなんてできるのかな？」

(昨年から今年の間に向かう矢印があり、中に「改善」と書かれている)

### ■今年

(ヘルメットをかぶってきちんとした装備の男の子が、5つの風船にぶら下がり飛んでいる)

風船1：丁寧なフォロー

風船2：コミュニケーションタイム

風船3：実践に対する不安の軽減

風船4：授業実践練習

風船5：講習会 90分 2回

障がい理解の強化

サポートを身近に感じられる

希望に合わせた講習

テイク技術の向上

サポーター数の増加

「前期は週19コマテイク派遣できた！！」

### ■課題

障サポに所属するメンバーすべての声を、どう取り入れ活動につなげていくか…

### ■これからは？

みんなの声が見える＝情報共有が大事

参加しやすい雰囲気、環境づくりにより、ひとりひとりの役割を生かした活動にする。

### ■お問い合わせ先

東北福祉大学 障がい学生支援室

住所：宮城県仙台市青葉区国見1-8-1

TEL:022-301-1291

FAX:022-207-1839

E-mail：(メールアドレス記載)